

55プラス

英会話にトライ③

完璧目指さず 反復練習

英会話学習を長続きさせるコツ

- 記憶力の衰えは、反復練習の回数でカバー
- 間違いを恐れない。外国人は世界中の人が英語を滑らかに話せるとは思っていない
- 発音も文法も完璧を目指さない
- 質問から覚え、相手に答えさせる。返事があると「自分の英語が通じた」と自信につながる
- 他人と比べない。習い始めた当初の自分と比べて成長を実感する



テキスト

「はじめよう! 生きがいとしての英語」
石田正著、春風社、1500円(税別)

「ゼロから驚くほど話せる! 英会話『音まね』レッスン」
川本佐奈恵著、旺文社、1400円(税別)

The Asahi Shimbun

32歳で英語習得を決意し、主婦から英会話の指導者になった川本佐奈恵さん(51)はNHKの「ラジオ英会話」で力をつけた。そのコツを教わった。

毎日聴き、聞こえてきた通りにまねして、口から出すのが基本。会話の場面を想像しながら「ネーティブになりきる」。声のトーンや速度、強弱が同じになるまで繰り返し返すのが目標。放送は録音するなどして何度も聴く。一文ごとに止めては話すを繰り返す。テ

キストの文字を確認して、目を上げて言う。会話が聞こえてきたら一気にすらすらと言えるぐらいを目標にしてほしい、という。

忘れても構わない。暗記してしまおうと、文章構文を思い出そうとたどたどしくなる。「脳に覚え込ませるのではなく、口の筋肉で覚えさせるんです」

川本さんは英会話スクールの代表だが、そこで過ごす1時間よりも、教室に行くまでの1週間に何をしておいたかが大事だという。毎日、繰り返し練習してこそ英語力が伸びる。長続きさせるには仲間を

作る。夫婦で一緒に勉強したり、友人同士で英会話サークルを立ち上げたりすると意欲も高まるという。約30年、シニアに英語を

教えている石田正さん(71)も、反復練習が重要だという。「記憶力の衰えを気にする人もいるが、年齢は反復の回数でカバーできる。60歳なら60回、自分の年齢だけ繰り返しればいい」と助言する。

反復練習のためのCD付きの旅行会話集などに加え、中学生程度の文法と基本的な発音を学べるテキストを買ったことを勧める。文法は問題を解くのではな

く、日本語とは異なる語順を知るためだ。発音は多少間違っても、アクセントの方が重要で意識して覚えてほしいという。

長続きしない人の特徴は「完璧主義者」だ。完璧に話そうとするから、いつまでたっても話せない。「100点は目指すな。英会話は試験科目ではなく、互いの気持ちや意見を伝える手段です」と石田さん。

学習を助けるグッズとして便利なのが電子辞書。「音声が出る辞書は、発音も聞ける。海外旅行で困ったら単語を見せれば、相手が理解してくれます」

▼あすは「学んだ成果を生かそう」です